オーバーテイクブースター（OTブースター）説明書 Vol.1

OVERTAKE BOOSTER Ⅱ

BIG POWER ＆ SIMPLE CONTROL

この度は弊社製品＜オーバーテイクブースターⅡ＞をお買い上げ頂き、まことにありがとうございます。本製品は車両の加速を極度に向上させるコントローラーです。
本製品を安全にご使用して頂く為に、装着ならびご使用の前に必ず本説明書を読んで、内容を十分に理解のうえ取り付け作業をおこなって下さい。
以下文面にてオーバーテイクブースターⅡを＜OTブースター＞と略させて表記致します。

お願い！ 本製品は性能向上、適合追加他の理由により、頻繁に取り扱い説明書の変更をおこなっております。お手元の取り扱い説明書のVol番号が最新でない場合は ご面倒でも当社ホームページ上の取り扱い説明書を参考に取り付け、調整をおこなって下さい。

⚠警告　死傷につながる恐れがある事故を未然に防ぐ為の事項を示してあります。

- ■ 運転者は、走行中に本製品を操作しないで下さい。運転操作の妨げになり、事故の原因となってしまいます。
- ■ 本体は運転の妨げにならない場所へ固定して下さい。
- ■ 本製品は電子スロットルの制御を目的に製作されています。配線の接続及び、使用方法を間違えると車両の不調・破損・事故をきたす場合が考えられますので十分慎重に取り扱い下さい。なを何かの原因で車両の不調・事故が発生しても当社では一切の責任を負えませんのでご了承下さい。

⚠注意　負傷または、車両や商品の損傷を未然に防ぐ為の事項を示してあります。

- ■ 取り付け作業はエンジンを停止させ、専用設備をもった安全な場所でおこなって下さい。必ず専門の業者に依頼して下さい。
- ■ 本製品およびハーネスを高温部もしくは水のかかる場所に設置することは絶対にさけて下さい。また製品を落としたり、衝撃を与えたりすると故障の原因になります。
- ■ 製品を分解もしくは改造して使用した場合、当社では一切責任を負うことが出来ません。

注意 **オーバーテイクブースターとスロットルコントローラーを組み合わせて使用することは出来ません！**

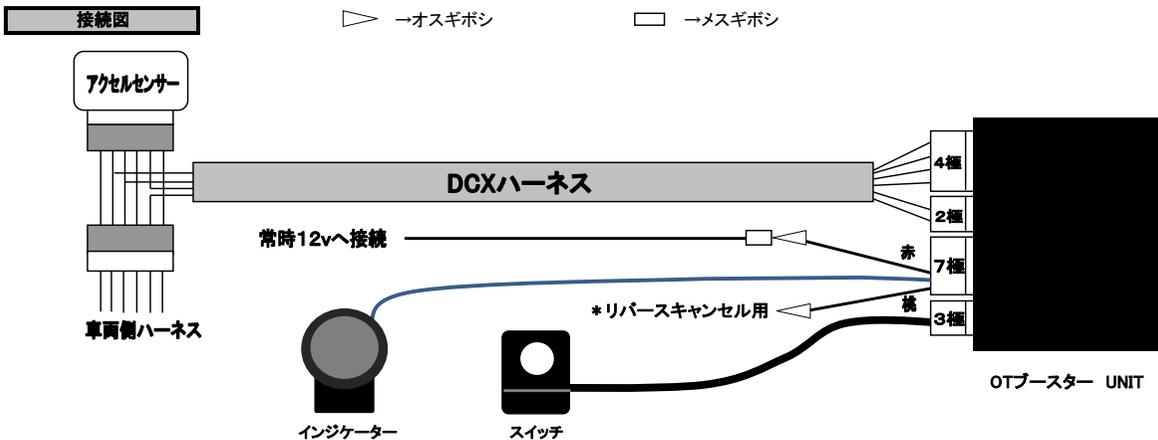
取り付け時の注意

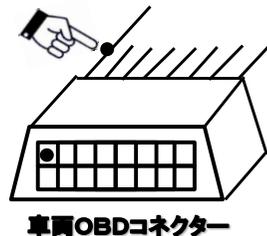
●取り付けが完了したら、エンジンを始動させる前に必ず＜初期設定＞をおこなって下さい。

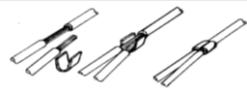
注意 ■取り付け作業はエンジン停止後、**車両電源が完全にOFFになったのを確認してから作業を開始**して下さい。
→キースイッチを抜いても数分間電源がOFFにならない車両があります（時間は車両により個体差があります）
→電源がOFFにならない状態で作業をおこなった場合は車両ECUが『エラー認識』をしてエンジンチェックランプが点灯してしまうことがあります。

注意 ■取り付け作業はバッテリーをはずさずにおこなって下さい→バッテリーをはずした場合はアイドリング学習、他設定が必要になります。
■電子スロットル制御に関わる部分です。接続位置、接触には注意して慎重に作業をおこなって下さい。
■接触不良等がある場合、正常にエンジンが吹けあがらない、やエンジンチェックランプ点灯等の状況が出てしまいます。
この場合専用の機器しかエンジンチェックランプの点灯を消すことができない場合があります。慎重に作業をおこなって下さい。

接続図

▷ →オスギボシ　　□ →メスギボシ

取り付け手順

①アクセルセンサーへ専用ハーネス（別売　DCXハーネス）を接続して下さい。
●装着方法はDCXハーネスの説明書を参考におこなって下さい。
③OTブースター本体へ付属のハーネスの7極カプラーを確実に差し込んで下さい。
④付属の7極カプラーより出ている赤線を、車両の常時12v電源線へ確実に接続して下さい。
●ヒューズに10Aの常時12v電源があれば、付属のヒューズ取り出し電源ハーネスを使用して接続して下さい。10Aの常時12v電源ヒューズが無ければ下図を参考に車両OBDカプラーの常時12v電源へ付属のスプライスにより確実に接続して下さい。

★黒丸の位置が常時12v電源です。
★念の為、電圧計にて確認をしてから作業をおこなって下さい。
★接続はスプライスにより確実におこなって下さい。

参考／スプライスの使用方法

■配線の適当な場所の被服を5mm程度むきます。
■赤色の配線の先を10mm程度被服をむき、車両配線へ巻きつけます。
■ｽﾌﾟﾗｲｽを接合部にあて、圧着ﾍﾟﾝﾁでかしめます。
■ﾋﾞﾆｰﾙﾃｰﾌﾟにて接合部を絶縁します。

注意 ●トヨタ車、レクサス車、ダイハツ車はOBDよりの電源取り出しは禁止されております（2015年1月より） ヒューズもしくは他の位置より電源の取り出しをおこなって下さい（常時12vがみつからない場合はIG12vでも可）

⑤7極カプラーをOTブースターのユニットへ確実に差し込んで下さい。

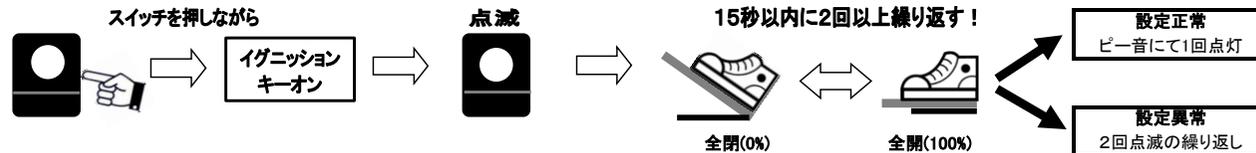
⑥スイッチをOTブースターのユニットへ確実に差し込んで下さい。

⑦別売のリバースキャンセルハーネスを装着する場合はリバースキャンセルハーネスの説明書を参考におこなって下さい。
⚠注意 ●本人以外の方が運転される場合は、OTブースター作動状態でのリバースは大変危険です。必ず装着をおこなって下さい。

初期設定

初めて車両に装着する場合、装着車両を変更する場合に必ず必要です！

⚠重要 **初期設定を行わない状態で本製品を使用した場合、車両ECUがエラーと認識をしてしまいます。必ず正確な操作にて初期設定を行ったください。**

⚠注意 **初期設定はエンジンを始動させない状態でおこなって下さい！**

①OTブースターのスイッチを押しながらイグニッションキーをオン状態にして下さい。
●OTブースタースイッチは押し続けて下さい。
②**ボタン点滅（1回点滅）＆ブザー音**の初期設定モードに入ります。
③**15秒以内**にアクセル操作で、アクセル全閉(0%)と全開(100%)を2回以上繰り返して下さい。
●1回でも可、念の為2回以上入力
●この操作で、アクセル信号の0～100%の電圧値が入力されます。
●アクセルペダルを踏み損じた可能性のある時は、①～③の操作をやり直して下さい。
④15秒間の初期設定モードが終わると、『ピ～音』と共にLEDが消灯します。
●ハーネスはずれ等で初期設定ができなかった場合は『ピィピィ音』のあとにLEDが2回点滅を繰り返します。

注意 **初期設定がきちんと認識されない場合はLEDが2回点滅を繰り返します。この状態の場合は各接続確認後、初期設定を再度おこなって下さい。**

⚠注意 ■初期設定をおこなわないで使用した場合はエンジンチェックが点灯してしまうことがあります。
■エンジンチェックが点灯してしまった場合は、エンジンチェックが点灯したままの状態で、IGキーONで通常の初期設定をおこなって下さい。
初期設定終了後、正常な状態を3～5回車両に認識させてやりエンジンチェックが消灯すれば問題ありません。
エンジンチェックが消灯しない場合は、専用の機器にてエンジンチェックを消去して下さい。（カーディーラー等の機器）

リセット方法

設定したデータをリセットする方法です。
●初期設定中にアクセルを1度も踏まないと内部データが全てリセットされ初期状態に戻ります。

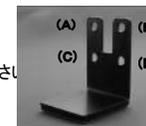
ユニット固定

●初期設定が終了したら、ユニットおよびスイッチを運転の妨げのならない位置へ固定して下さい。
●ユニットはカーペット下等に固定して下さい。（熱・水のかからない場所へ固定）
＊ユニット及びハーネスは電源ノイズの多い機器、ハーネスからは遠ざけて固定して下さい。

スイッチ固定

●スイッチは両面テープにて、操作しやすい位置へ固定して下さい。
注意 ●運転の妨げにならぬように取り付けて下さい。

インジケーター固定

●インジケーターは見やすい場所へ固定して下さい。
●ステー穴の位置は（A）－(B)，（C）－（D），（A）－（C），（B）－（D）と4とおりの取り付け方法があります。場合によってはステー加工等により最良の位置決めをおこなって下さい。
⚠注意 ●ステーの固定ネジを締めすぎた場合、インジケーターのサポーターのネジ山がつぶれてしまいます。適度なトルクにて締めて下さい。
●運転の妨げにならぬように取り付けて下さい。

作動確認

①エンジンを始動させて下さい。
②OTブースターのスイッチをオンした時にインジケーターの＜OVER　TAKE＞の文字が浮き出て、ピッピッピッ・・・というブザー音が出ます（正常時）
●この状態にならない時は配線の接続、接触、初期設定等を見直して下さい。
●ブザー音を消したい時は『設定変更』をおこなって下さい。
③AS1のリバースキャンセルハーネスを使用している時は、リバースギヤを入れた時にLEDが消灯するか？確認して下さい。

使用方法・注意

スイッチ

インジケーター

●ボタンを押すたびに＜OTブースター＞⇔＜ノーマル＞が切り替わります。
＊OTブースター状態の時はインジケーターが点灯します。
●エンジン始動後、OTブースタースイッチのボタンを1回押すと車両のエンジンレスポンスが大幅に向上します。
高速走行時等にてアクセルを大幅に踏む必要がなくなり、より快適な運転をすることが可能になります。
●市街地走行では状況に応じOTブースターを使用することをお勧めします。
●雨天、雪等の条件の悪い状況での使用は十分に注意して使用して下さい。
●上記項目を確認し自己判断、自己責任でOTブースターをご使用下さい。
●加速が強烈すぎる場合は『設定変更』にてモードを変更して下さい。

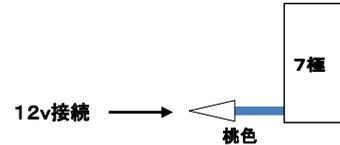
設定変更

●OTブースターは下記の５通りのモードを選択出来ます。　＊初期状態はモード5になっています。
●ブザー音無のモードを選択した場合、リバースブザー機能も停止します。

	設定表	モード内容			設定値	
		フィーリング	ブザー音	備考	設定時に押す回数	設定後ブザー回数
	モード1	強烈	無	小排気量車向け（目安）	1	1
	モード2	強烈（踏み始めマイルド）	有	中排気量車向け（目安）	2	2
	モード3	強烈（踏み始めマイルド）	無	中排気量車向け（目安）	3	3
	モード4	マイルド	無	大排気量車向け（目安）	4	4
標準	モード5	強烈	有	小排気量車向け（目安）	5	5

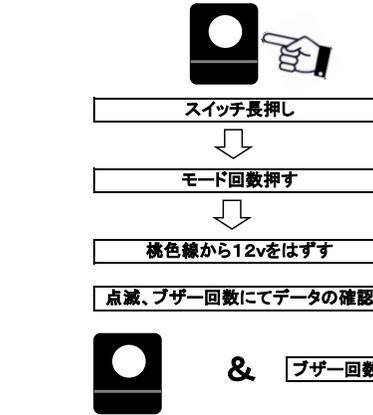
設定変更手順

①設定変更の準備方法
＜リバースキャンセルハーネスAS1が装着されている場合＞
注意
●イグニッションキーをオンにし、シフトをリバースギアの状態にして下さい。
●絶対にエンジンは始動させないで下さい。

＜リバースキャンセルハーネスAS1が装着されていない場合＞　＊右図参照
●本体7極の桃線へ工夫して12vを接続して下さい。
●IG12、ACC12vでも可

②スイッチを5秒以上、長押しして下さい。
●ブザー音が出ます（10秒間）
●スイッチのLEDは消灯状態

③10秒間以内に変更したいモードの回数、スイッチを押して下さい。
●設定変更の表を参考におこなって下さい（設定時ブザー回数）

④完了、データ確認方法
＜リバースキャンセルハーネスAS1が装着されている場合＞
●ギアをニュートラル状態に戻して下さい。この時ブザー音と共にLEDが点滅します。
設定をおこなった回数の点滅回数か？確認して下さい。
●正常であれば一旦キースイッチをオフにして下さい。
●異常であれば一旦キースイッチをオフにして①～④の設定を再度やり直して下さい。

＜リバースキャンセルハーネスAS1が装着されていない場合＞
●イグニッションキーオンの状態で桃線と12v線を切り離します。この時に
設定をおこなった回数の点滅回数か？確認して下さい。
●正常であれば一旦キースイッチをオフにして下さい。
●異常であれば一旦キースイッチをオフにして①～④の設定を再度やり直して下さい。

注意 ★一度設定変更をしてから再度設定変更をする場合は、車両電源を1度切ってから再度おこなって下さい。

トラブルチェック

警告 **エマージェンシーモードに入り、エンジンが吹けあがらない状態になった場合は大変危険です、車両を安全な場所へ一旦停車させ、エンジンを停止し1～2分後にOTブースターをOFFの状態にて再始動させて下さい。**

＜LEDが2回点滅を繰り返す＞
●初期設定が出来ていません。初期設定をやり直して下さい。

＜エンジンを停止させてもLEDが消えない＞
●最近の車両は電子化により、数多くの電子機器を使用しています。エンジンを停止してもそれらの電子機器に蓄電された電圧が落ちるまで時間がかかります。長いものでは、20分程度かかる車両もあります。しばらく消えないのは正常です。

＜アイドリング不調＞
●初期設定不良の可能性があります。初期設定を再度おこなって下さい。
●取り付け作業時にバッテリーをはずしてしまった時はアイドリング学習が必要です。カーディーラー等にて確認して下さい。

＜エンジンチェック点灯、吹けあがらない＞
●キースイッチを抜いてから、完全に電源が切れる前に作業をおこなってませんか？（完全に電源が落ちてから作業をおこなって下さい）
●カプラーの接触、挿入方向を再確認して下さい。
●エンジンルームにもアクセルセンサーと同形状のカプラーがあります。エンジンルーム内のカプラーに接続した場合、正常に作動しません。
＊必ず車内のアクセルセンサーのコネクターへ接続して下さい。（一部車両はエンジンルームにカプラーがあります）
●装着車両を変更した時は必ず＜初期設定＞をおこなって下さい。

＜エンジンチェックの消し方＞
●エンジン始動　⇔　停止　を3回～4回以上繰り返す
＊停止時はエンジンを停止させてから10～20秒おいてからエンジンを再始動させて下さい。
●上記方法にてチェックが消えない場合はカーディーラー等の専用機器のある工場にてエンジンチェックランプを消してもらって下さい。